

平成15年度 沖電グループ経営方針（概要）

沖電グループは、「強くて夢のある沖電グループ」として成長・発展していくために、グループ総体で徹底した経営効率化に努めるとともに、電気事業以外の分野に積極的に事業拡大し、2010年度の収入割合『電気事業7割、その他事業3割』の実現を目指す。

今後も、株主・投資家、お客さまとのより一層の信頼関係を構築し、選ばれ続ける企業グループを目指し、最善の努力を尽くしていく。

中期経営計画（～2005年度）では、「グループ外売上拡大」「効率化の推進」の2つの重点項目を掲げており、

- ・「グループ外売上拡大アクションプログラム」の着実な実施
 - ・電気事業に続く柱となる事業の確立
 - ・グループ各社における効率化施策の着実な実施
- に取り組んでいくこととしている。

なお、2003年度は、同計画を踏まえ以下の重点施策に着実に取り組んでいく。

[平成15年度 沖電グループ経営方針]

（重点的に取り組む事項）

1. グループ外売上拡大

- グループ各社の経営資源を活用した事業拡大・新規事業開発
- 沖縄電力の新規事業開発部門を中心に、電気事業に続く柱となる事業の確立に向けた積極的な新規事業開発
- グループでの情報共有・合同営業等の実施
- 新規事業におけるグループ人材の活用

2. 効率化の推進

- 各社中期経営計画における効率化施策への着実な取り組み
- 資金調達コストの低減、グループ業績管理の強化

3. 「沖電グループ」ブランドの確立

- お客さまの立場に立った営業活動の定着
- 需要開発と負荷平準化の推進
- 教育・研修・グループ内の人材交流等を通じた技術力の確実な確保・継承
- 環境に配慮した電力供給システムの構築や環境と調和した企業活動への積極的な参加
- 経済団体活動、社会文化・スポーツ活動、国、県および地域の振興に資する諸活動を通じた地域社会への貢献
- 安全で快適な職場環境づくり